

北海道立北見病院 呼吸器内科選択研修プログラム

(1) プログラムの名称

北海道立北見病院呼吸器内科選択研修プログラム（1～2年次 自由選択）

(2) プログラムの目的と特徴

1) 目的

研修を通じ、呼吸器内科疾患の診断、治療における基本的な技術、知識を習得する。

2) 特徴

- ①呼吸器内科疾患の基礎について知り、自ら診療を進めることができる。
- ②当直業務やオンコール業務を実施することにより救急医療を習得できる。
- ③指導医による客観的指導を受け適切な診療ができる。

(3) プログラム責任者

小 笠 壽 之 （北海道立北見病院 地域医療連携室長・呼吸器内科専門医）

(4) 研修目標

1) 行動目標

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの行動目標の達成に努める。

2) 経験目標

気管支鏡検査
胸腔穿刺
胸腔ドレナージ
COPD・気管支喘息の治療
肺炎・間質性肺炎の治療
慢性呼吸不全患者への在宅酸素療法の導入

(5) 研修実施計画

1) 期間

1～2年次 自由選択期間

2) 研修の実施方法

① 病棟研修

入院患者の診療は、研修医か担当医となるが、基本的にチーム医療体制をとつ

ているので指導医とともに呼吸器内科入院患者全員の診療を行う。
また、病棟治療を通じて、呼吸器内科の基本的な診療を習得する。
指導医が行うICの取得には必ず参加する。

② 外来研修

指導医の補助医として参加し、新患及び再診患者の診察法を習得する。

③ カンファレンス等による研修

定期的に北見赤十字病院内科医や呼吸器外科医とのカンファレンス、抄読会
などに参加し、研修内容を充実させる。

(6) 指導体制

1) 指導医

小笠 壽之（北海道立北見病院 地域医療連携室長・呼吸器内科専門医）

2) 指導体制の概要

指導医が指導に当たる。

(7) 研修の評価

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの規定に順ずる。